

## 外国語活動

### 外国語活動で求める子どもの姿

外国語を用いたコミュニケーションの楽しさを感じ、互いのよさを認め合いながら自分の思いを伝え合う子ども

「コミュニケーションの楽しさを感じ」とは

外国語や異文化に触れる活動の中で、相手の気持ちやその場の状況等に応じたコミュニケーションを図り、伝わり合った楽しさを感じることに

「互いのよさを認め合いながら」とは

「話し方や表情、伝え方のよさ」や「自分や相手の新たな一面」に気付くことに

「自分の思いを伝え合う」とは

相手意識をもち、外国語を用いて、ジェスチャーや表情を加えながら、互いに自分の思いをきちんと伝えたり、理解しようと努力したりすること



### 育みたい資質や能力

#### 求め続ける力

自分の思いを伝えようと、「ひと」や外国の言語・文化に自らかかわろうとする力

#### 共に学ぶ力

相手の思いを感じ取り、状況に応じたコミュニケーションを図る力

#### 見つめる力

外国語を用いたコミュニケーション活動を振り返ることで、学びの楽しさや自分のよさや可能性に気付く力



### 外国語活動で大切にしていきたいこと

#### (1) 教材の開発

- 「やってみたい」「英語で言ってみよう」「もっと外国語や外国のことを知りたい」と意欲を高め、自分から「ひと」や外国の言語・文化にかかわりをもとうとするような教材
- 他教科での学びやこれまでの学びと関連付けて思考する場面があるような教材

#### (2) 振り返りの場の設定

- 自分や友だちの「伝え方」という点からの振り返り
- 自分の「よさ」や「変容」への気付き

